



射水市立小杉小学校 学校だより

杉っ子

第12号

令和5年3月10日

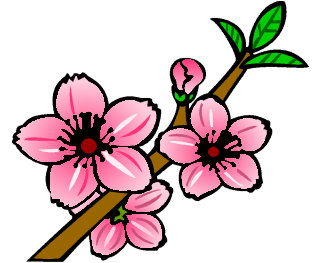
皆様のご支援、ご協力に感謝致します

2学期末の大雪、3学期初めの大寒波と、突然の悪天候に戸惑った冬も終わり、温かな日差しに春を感じる頃となりました。休み時間には、たくさんの子供たちがグラウンドに出て、思いっきり体を動かしています。

来週17日には、93名の子供たちが小杉小学校を巣立っていきます。卒業生・保護者の皆様にご心からお祝いを申し上げますとともに、直接、間接的に関わってくださった多くの方々にも厚くお礼を申し上げます。

先日は、6年生の卒業を祝う集会が行われました。「ありがとう」の言葉がたくさん行き交う、心温まる集会でした。最後の在校生が歌う歌は、5年生が歌詞を考えてくれた「虹」という曲の替え歌でしたが、それを聞きながら涙が止まらなかったのは、私だけではありませんでした。「杉っ子一人一人が自分の責任を果たし、助け合ってつくってきた心のつながり、絆を確かめ合うことができましたね」と、私は子供たちに話しました。そして、「在校生は6年生から受けた親切や笑顔の『恩』を次へと渡す、『恩送り』をしていってほしい、卒業生は、自分も持っているよさや自分にできることを大事にしていってほしい」と話しました。にこやかな顔でうなずきながら話を聞いている卒業生、在校生の姿からそれぞれの成長を感じ、うれしいひと時でした。

保護者、地域の皆様には、この一年間、子供たちの安心・安全のためにご尽力いただくとともに、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



心の才能

「3月」は学期のまとめだけでなく、「1年間のまとめ」となり、各学年の修了証を渡します。「なりたい自分に向かってチャレンジ」を合言葉として子供たちはがんばってきました。私たち大人は子供の成長を見つめ、子供に伝えようと努めてきましたが、しっかり届いているでしょうか。

アーティスティックスイミングで指導者として多くのメダリストを育てた井村雅代コーチの講演録に次のような話がありました。

「よく才能という話をしますよね。シンクロで言えば、背が高い、手足が長い、顔が小さい、音感がいい、いろいろな才能がある。いくらでも挙げられる。でも才能はあればいいけど、なくてもいい。大切なのは、心の才能です」。

(その上で、心の才能について説明されました。)

「うまくいかない時にどう考えるか。心の才能がない人は、きっと自分に向いてない、だからやめようとする。心の才能がある人は、自分の努力が足りなかったんだ、もっと努力しようとする」。

(その際、見守る側に大切なことは毎日、小さな成功体験をさせることだと言われます。)

「垂直跳びで30センチ跳べる。3カ月後に40センチ跳ぼうといっても、ハードルが高い。『明日は30センチと1ミリ跳ぼう』。次の日にもう1ミリ跳ぼう。この小さな努力、小さな進歩が大切。五輪選手でもそうやってレベルを上げていくんです」

進学、進級する春は、自分の強みと弱みを見つめ直し、新たな「なりたい自分像」を作り、夢や希望、意欲をもつ大切な時期です。普段の何気ない会話を大切に、「大丈夫だよ」「挑戦しよう」「応援しているよ」という前向きな言葉を、温かい気持ちでかけていただくようお願いいたします。



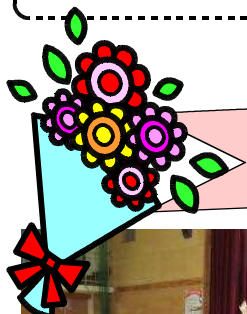
卒業記念品をいただきました ありがとうございました



卒業生の保護者の皆様から、イージーアップテント（一部PTAから助成）を寄贈していただきました。運動会で、児童が入るテントとして使わせていただきます。

感謝の思いを届けよう集会

3月2日(木)



1年生は、ねずみのダンスでお祝いした後、縦割り班のリーダーにペンダントを渡しました。集会が終わった後も、そのペンダントをかけてうれしそうな6年生。「大事だからしまってあります」と言う6年生。入学から関わりの深かった1年生と6年生の心のつながりが伺えました。



かわいい「2年生ドラえもん」のポケットから出てきたプレゼントは、卒業式に6年生が使う手提げ袋。丁寧に心を込めて色が塗ってある、すてきな袋です。体育館中に響く大きな声でお祝いを伝え、手を振ってくれた「2年生ドラえもん」が本当にかわいく、みんなが笑顔になりました。

「伝統は私たちが守っていきます」という力強い掛け声の後、3年生が躍った杉っ子ソーラン。全員が動きをそろえ、元気に踊る姿にチームワークのよさが伺えました。きっと、6年生も安心してくれたことでしょう。



4年生からは、ディズニーを代表する曲「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」の合奏のプレゼントがありました。「この曲には『輝かしくすがすがしい気持ちで、元気よく前に進もう』という気持ちが込められています」という4年生の言葉と合奏が、聞いている者を元気づけてくれました。



劇や歌、司会等、チームに分かれ、集会を企画し運営してくれた5年生。6年生からのバトンをしっかり受け継ぎました。

6年生からもありがとうの気持ちを伝える動画、各教室で使う手作りの敷物のプレゼントがありました。人と人のつながりを感じ、幸せな気持ちになることができた集会でした。